

抗菌ミスト 室内空間の除菌・除ウイルス・消臭剤

抗菌ミストは浮遊菌、インフルエンザウイルス、結核菌、食中毒を起こす菌などの除菌に。トイレやペット、ごみの臭いを低減させます。



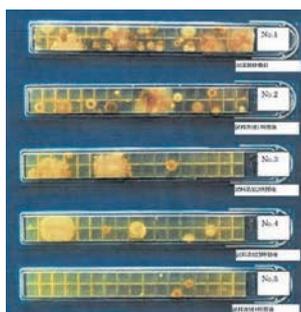
(1L)

使用方法

- 水1ℓに抗菌ミスト10mℓを混ぜ、加湿器・噴霧器にて噴霧。
- 推奨加湿器: 超音波振動、フィルターなしタイプ。加熱式使用不可。

■原料となるリバルス薬剤の安全性 (0.2%品)

ラット経口毒性 LD ₅₀ 2,000mg/kg以上 (10%品)
ウサギにおける眼粘膜刺激性試験 …………… 刺激性を認めず
モルモットにおける皮膚感作性試験 …………… 感作性を認めず
ヒト皮膚一次刺激性試験 (パッチテスト20名) …… 刺激反応認めず



- No.1 加湿器稼働前
- No.2 試料添加 1時間後
- No.3 試料添加 2時間後
- No.4 試料添加 3時間後
- No.5 試料添加 4時間後

原料となるリバルス薬剤での試験確認微生物

(-) : 死滅

微生物名	1分	3分	5分	テスト先
インフルエンザ	直後に感染価が1/10に低下			三菱化学BCL
ノロウイルス		不活化		ビジョンバイオ
SARSコロナウイルス	不活化			長崎大学
結核菌			(-)	阪大
レジオネラ菌	(-)			中央微生物検

■原料となるリバルス薬剤の効果が認められた細菌・ウイルス・真菌

細菌類：大腸菌・緑膿菌・黄色ブドウ球菌・MRSA・結核菌・レジオネラ菌など

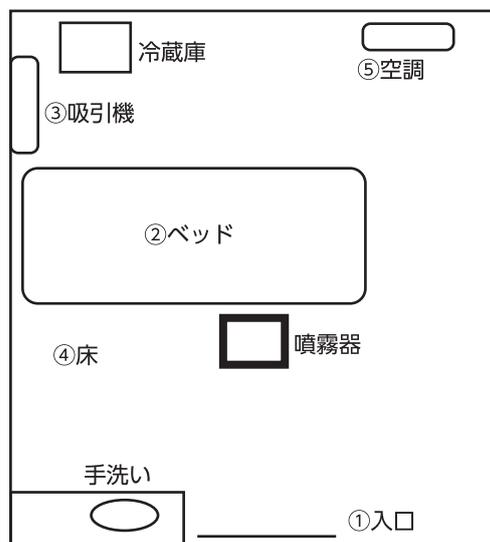
ウイルス類：インフルエンザウイルス・鳥インフルエンザウイルス・SARSコロナウイルス・人由来ノロウイルス・A型、B型肝炎ウイルスなど

真菌類：白癬菌・カンジタ菌など

病棟環境細菌検査結果

消毒液:リバルス#6Nは薬剤比率の高い医療機関向けに開発した製品です。

抗菌ミストは薬剤成分は同じで汎用の加湿器にも使用できるように開発した製品です。



目的：消毒液の効果確認

使用消毒液：濤和化学リバルス6N

使用機器：濤和化学メディカルスプレーR

使用培地：フードスタンプ 標準寒天培地

病室寸法：幅286×奥行440×高さ262 (cm)

採集場所	培地	菌名	菌数(培養時間)			
			消毒前		消毒後	
			24時間	48時間	24時間	48時間
①入口床	TGSE	黄色ブドウ球菌	0	0	0	0
	SMA	一般細菌	32	32	1	1
	DESO	大腸菌群	0	0	0	0
	NGKG	セレウス菌	0	0	0	0
②ベット上	TGSE	黄色ブドウ球菌	0	0	0	0
	SMA	一般細菌	0	0	0	0
	DESO	大腸菌群	0	0	0	0
	NGKG	セレウス菌	0	0	0	0
③吸引機下の床	TGSE	黄色ブドウ球菌	0	0	0	0
	SMA	一般細菌	54	54	6	6
	DESO	大腸菌群	0	0	0	0
	NGKG	セレウス菌	0	0	0	0
④床	TGSE	黄色ブドウ球菌	0	0	0	0
	SMA	一般細菌	50	50	8	8
	DESO	大腸菌群	0	0	0	0
	NGKG	セレウス菌	0	0	0	0
⑤空調機の上	TGSE	黄色ブドウ球菌	0	0	0	0
	SMA	一般細菌	2	3	0	0
	DESO	大腸菌群	0	0	0	0
	NGKG	セレウス菌	0	0	0	0

リバルス持続殺菌効果

菌 株		1日目		2日目		3日目		4日目	
		コントロール	30分後	コントロール	30分後	コントロール	30分後	コントロール	30分後
P.aeruginosa	緑膿菌標準株	6.5×10 ⁵ ^{a)}	— ^{b)}	1.7×10 ⁶	—	1.1×10 ⁶	—	1.1×10 ⁷	—
P.aeruginosa	緑膿菌No.6	0.8×10 ⁵	—	1.9×10 ⁶	—	1.9×10 ⁵	—	1.9×10 ⁷	—
S.aureus	黄色ブドウ球菌標準株	6.2×10 ⁶	—	1.1×10 ⁶	—	4.9×10 ⁵	—	4.9×10 ⁶	—
S.aureus	黄色ブドウ球菌No.1	4.6×10 ⁶	—	1.0×10 ⁶	—	0.7×10 ⁶	—	0.7×10 ⁶	—
菌 株		5日目		6日目		7日目			
		コントロール	30分後	コントロール	30分後	コントロール	30分後		
P.aeruginosa	緑膿菌標準株	0.9×10 ⁷	—	0.9×10 ⁷	—	2.9×10 ⁶	—		
P.aeruginosa	緑膿菌No.6	2.1×10 ⁷	—	2.1×10 ⁷	—	1.9×10 ⁶	—		
S.aureus	黄色ブドウ球菌標準株	2.0×10 ⁶	—	2.0×10 ⁶	—	1.6×10 ⁶	—		
S.aureus	黄色ブドウ球菌No.1	1.4×10 ⁶	—	1.4×10 ⁶	—	1.9×10 ⁶	—		

a):スポット当たりの生菌数 (CFU/ml)

b):検出限度以下

依頼番号 2018-1786

発行日 平成30年7月2日

濤和化学株式会社 様

厚生労働大臣登録検査機関
京都府相楽郡精華町光台3-6-1
環境衛生薬品株式会社
関西学研ラボトリー

検査報告書

平成30年6月7日にご依頼いただきました検査試料について検査した結果は次の通りです。



除菌効果試験

1. 検査試料

抗菌ミスト

2. 使用培地

アガーストリップTC

3. 検査方法

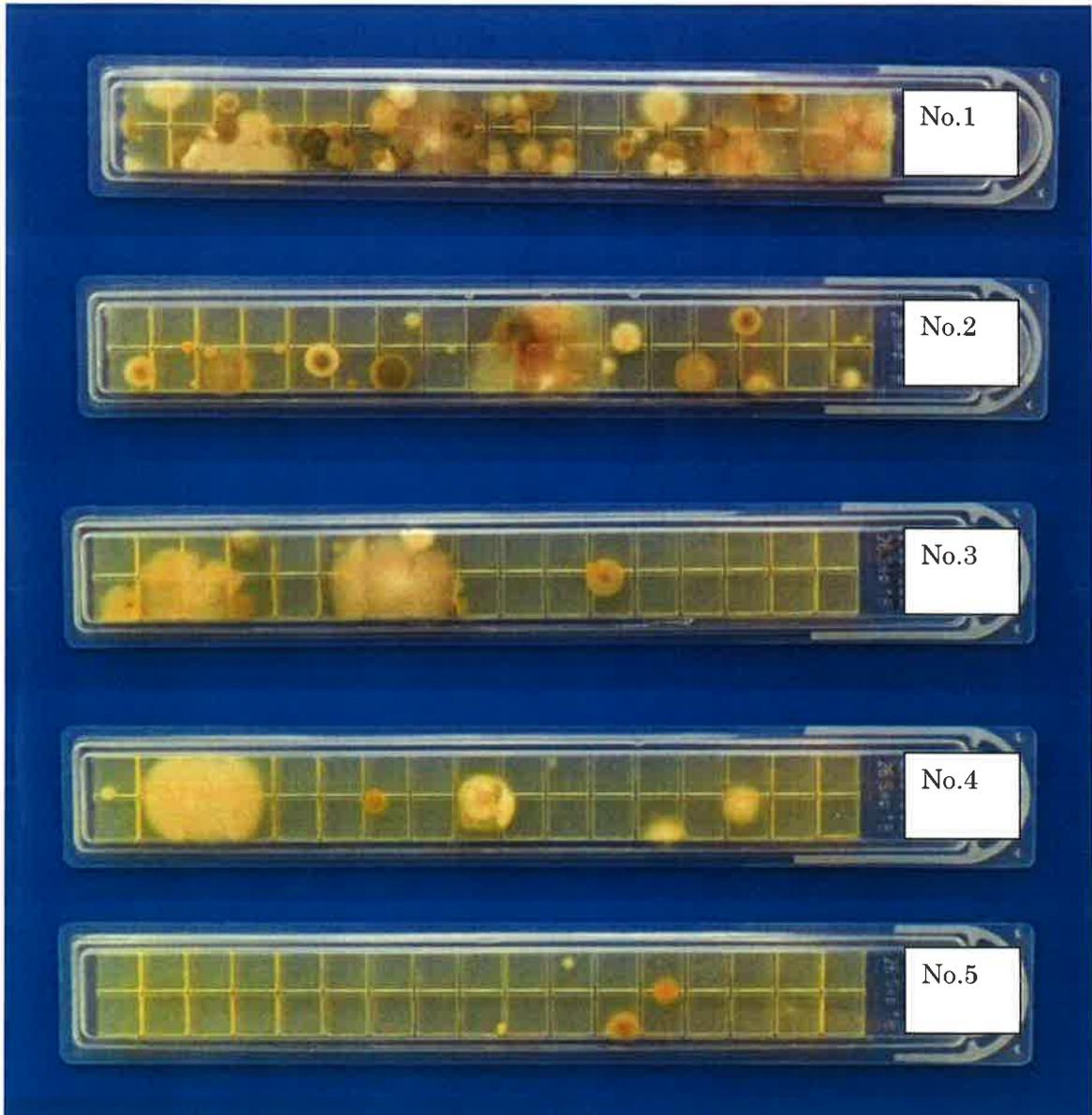
床面積約 12m² の部屋に検査試料を規定量 (10mL/L) 添加した加湿器を設置した。加湿器の稼働条件は加湿量最小、湿度 70%、加熱入とした。加湿器稼働前、稼働 1 時間後、2 時間後、3 時間後、4 時間後にエアサンプラーで空気を 200L 捕集した。捕集後は 27.5±1℃ で 5 日間培養し菌数を測定した。

4. 結果

結果を以下の表に示す。

	浮遊菌数測定結果	
	200L	1,000L 換算値
加湿器稼働前	45 cfu	225 cfu
試料添加 1 時間後	24 cfu	120 cfu
試料添加 2 時間後	11 cfu	55 cfu
試料添加 3 時間後	7 cfu	35 cfu
試料添加 4 時間後	6 cfu	30 cfu

5. 写真



- No. 1 加湿器稼働前
- No. 2 試料添加 1 時間後
- No. 3 試料添加 2 時間後
- No. 4 試料添加 3 時間後
- No. 5 試料添加 4 時間後

以上